

大石越 西南役薩軍塹壕跡
おおいしごえ ざんこうあと
 所在地 五ヶ瀬町大字鞍岡一本木五三三一番地
 標高 一〇三〇メートル
 この塹壕跡は、明治十年（一八七七年）の西南役のもので、官軍の歩兵第十三連隊が守備する鏡山陣地を攻撃せよと、人吉の本隊から命ぜられた、薩軍三田井派遣隊は、肥後佐之助の正義六番隊と、大島景保の延岡隊を、五月十二日から、坂本及び大石に駐屯させた。両隊はこの大石峠に監視兵を置いて、官軍の鞍岡からの進攻を警戒させた。大石峠の旧道を挟んで両側に塹壕跡が二ヶ所ある。
 五月十四日、薩軍は午前一時一斉に行動を起し、夜明けと共に総攻撃に移ることとし、正面隊は廻測から、右翼隊は加勢群、境ノ松から、左翼隊の肥後、大島の両隊は、大石からウツギの越に登り、肥後隊は峰伝いに笠部峠を経て鏡山の側面から官軍の陣地に突入し、延岡隊はウツギの越から笠部に下り、第二大隊第三中隊長平佐大尉の駐屯陣地の背後から急撃してこれを馬見原に走らせた。
 この日薩軍は、鏡山の官軍陣地二十九塁を奪い、官軍を馬見原に追い落して、大いに戦果をあげた。
 翌日延岡隊は三田井方面の防衛に廻されるが、肥後隊は五月二十六日、米良方面に派遣される迄、坂本、大石方面の警備に当たっており、それ迄この地は薩軍の警備陣地が置かれていた所である。
 平成三年三月三十一日
 五ヶ瀬町教育委員会



上：祇園山登山口



右中：展望台まで急登



右：満開のヒカゲツツジ



下：アケボノツツジ





シャクナゲ



エイザンスミレ



揺岳の登山道



揺岳山頂とアケボノツツジ